

「第 48 回岩盤力学に関するシンポジウム」プログラム

岩盤力学委員会では、岩盤工学および岩盤力学に関する最新の調査研究、技術の成果発表の場を広く提供するため、「岩盤力学に関するシンポジウム」を開催しております。

下記の要領で「第 48 回岩盤力学に関するシンポジウム」を開催いたしますので、各界の技術者、研究者、学生などの多数の参加をお願いいたします。

1. シンポジウム案内

主催	(公社)土木学会 (担当: 岩盤力学委員会)
共催	(一社)岩の力学連合会, (一社)資源・素材学会, (公社)地盤工学会, (公社)日本材料学会
期日	2022 年 1 月 12 日 (水), 13 日 (木)
場所	Web 開催
講演集	第 48 回岩盤力学に関するシンポジウム講演集 (講演集ダウンロード版, 参加費に含む)
参加費	主催・共催学会に所属の場合 一般 10,000 円, 学生 4,000 円 主催・共催学会に所属でない場合 一般 12,000 円, 学生 4,000 円 ※Web 開催のため, 指定期間中の申込みのみ , となります (当日申込はございません)。
講演要領	口頭発表及びポスター発表の講演要領は, HP*上の「講演要領」をご覧ください。
表彰制度	表彰対象 : シンポジウムにおけるすべての口頭発表 (自由投稿論文は除く) 賞の種類 : 優秀講演論文賞・提出された原稿と発表の内容が非常に優れているもの 若手奨励賞・・・・35 歳以下 (1986 年 4 月 1 日以降生まれ) の者のうち, 提出された原稿と発表の内容が非常に優れているもの。 表彰式 : シンポジウムの閉会式 (1 月 13 日) 賞品 : 楯, 賞状 表彰制度の詳細は, HP*上の「表彰制度」をご覧ください。
問合せ先	第 48 回岩盤力学に関するシンポジウム 事務局 E-mail : rm-sympo@jsce.or.jp 土木学会研究事業課 岡崎 寛輝 宛 TEL : 03-3355-3559/FAX : 03-5379-0125/E-mail : okazaki@jsce.or.jp

* http://www.rock-jsce.org/index.php?48th_RM_Sympo

2. 全体スケジュール

第1日目 2022年1月12日(水)

開始	終了	セッション名		会場	
8:45	9:00	開会挨拶 ¹⁾ スケジュール等		第1会場	
9:00	10:30	特別セッション /口頭発表 1	岩盤動力学に関する研究小委員会 特別セッション(1)	6件	第1会場
			トンネル・地下空洞 (1)	6件	第2会場
10:45	12:15	特別セッション /口頭発表 2	岩盤動力学に関する研究小委員会 特別セッション (2)	6件	第1会場
			トンネル・地下空洞 (2)	6件	第2会場
12:15	13:15	昼食			
13:15	14:45	特別セッション /口頭発表 3	岩盤斜面研究小委員会 特別セッション	5件	第1会場
			岩盤の性質・評価 (1)	4件	第2会場
15:00	16:00	口頭発表 4	資源・エネルギー/環境保全	4件	第1会場
			岩盤の性質・評価 (2)	4件	第2会場
16:15	17:45	特別講演	岩の力学連合会オーガナイズドセッション 「東北 ILC 施設計画」の紹介～ILC の物理・加速器・土木・地方創生		第1会場

第2日目 2022年1月13日(木)

開始	終了	セッション名		会場	
9:00	10:30	特別セッション /口頭発表 5	岩盤動力学に関する研究小委員会 特別セッション(3)	6件	第1会場
			室内試験/模型実験	6件	第2会場
			岩盤動力学に関する研究小委員会 特別セッション (4)	5件	第1会場
10:45	12:00	特別セッション /口頭発表 6	数値解析 (1)	4件	第2会場
			昼食		
13:00	14:00	小委員会報告	岩盤力学における DX 活用検討小委員会		第1会場
14:15	15:15	特別セッション /口頭発表 7	岩盤動力学に関する研究小委員会 特別セッション (5)	2件	第1会場
			数値解析 (2)	3件	第2会場
15:30	17:00	自由討議 セッション	室内試験	6件	第1会場
			現場計測	6件	第2会場
17:00	17:15	表彰式 ²⁾ 閉会挨拶 ³⁾		第1会場	

- 1) 開会挨拶 : 岩盤力学委員会 委員長 岸田 潔
 2) 表彰式 : 岩盤力学委員会 論文小委員会 小委員長 木下 尚樹
 3) 閉会挨拶 : 岩盤力学委員会 副委員長 森岡 宏之
 (司会進行 : 岩盤力学委員会 論文小委員会 小委員長 木下 尚樹)

口頭発表 79件 (うち、特別セッション30件、自由投稿論文12件)

3. 特別講演（1月12日（水） 16:15～17:45／会場：第1会場）

担当	（一社）岩の力学連合会
進行	関西大学社会安全学部 教授 小山 倫史（司会） 東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 教授 京谷 孝史（ファシリテーター）
題目	岩の力学連合会オーガナイズドセッション/「東北ILC施設計画」の紹介～ILCの物理・加速器・土木・地方創生
趣旨	岩の力学連合会では、各学会単独ではカバーできない総合的な岩盤科学技術の創生と体系化に向けた「新しい研究分野の創生」を目指して、活動を進めています。今回は理学分野で活躍されている2名の研究者をお招きし、「東北ILC施設計画」に関して岩盤力学・工学に関連した技術的課題や地方創生にむけた取り組みについてご紹介いただきます。
講演者1	東北大学大学院理学研究科物理学専攻 准教授 佐貫 智行 様
概要	「ILCの物理・加速器・土木」 国際リニアコライダー（International Linear Collider: ILC）とは、時空の構造や宇宙誕生の謎の解明を目指す次世代の国際共同利用研究施設である。その名の通り直線状の施設であり、その延長は20kmを超える。ILCで研究する素粒子物理学やILCの心臓部である加速器施設の概要と共に、土木施設の最新の検討状況を紹介する。岩盤力学・工学に関連した技術的課題や検討項目について議論を行いたい。なお、2020年時点での土木施設検討内容をまとめた「東北ILC施設計画」を下記URLにおいて公開している。 東北ILC事業推進センター： https://tipdc.org/document/
講演者2	東北大学大学院理学研究科物理学専攻 学術研究員 吉岡 正和 様
概要	「ILCの環境・地域に与えるインパクト」 ILCは学術研究の重要な施設であると同時に、50年・100年のタイムスケールで大型ハイテック装置が地域に与えるインパクトは極めて大きいし、逆に言えば地域がILCを地域にとって如何に有用なものにするかが問われている。そのポイントを以下に列挙する。 ① アジア初となる大型国際機関であり、数千人の研究者・技術者が地域に長期に亘り居住する（その滞在経費は出身国負担）。世界の同様な研究機関の例をみると最終的に関連人口は数万人にもなるし、また将来的にはILCのスピンオフ企業が周辺に誕生する。 ② ILCが立地する基礎自治体のみならず、通勤圏に含まれる多くの基礎自治体にとって、広域のまちづくりを考える上でILCの立地を考慮に入れることは必須であり、表現を変えれば少子高齢化人口減少に直面している地域にとって将来を見据えたタウンプランニング作成の好機でもある。 ILCが自然環境に配慮して建設されることは当然であるが、大きな電力負荷設備としての側面も持つ。その建設は2050年カーボンニュートラル政策に沿ったものになる。具体的には（1）省エネルギー技術の開発と社会への還元、（2）再生可能エネルギー比率を地域と協力して向上させること、（3）地域は森林率がたかく、CO ₂ 吸収のポテンシャルが高い。ILC関連施設に木材を多用することは当然だが、それを契機として地域の健全な森林経営に資する。

4. 研究小委員会報告（1月13日（木） 13:00～14:00／会場：第1会場）

担当	岩盤力学におけるDX活用検討小委員会(岩盤DX小委員会)		
進行	J-POWERテレコミュニケーションサービス(株)		西本 吉伸
講演者	岩盤DX小委員会の活動計画:	JPテレコミュニケーションサービス(株)	西本 吉伸
	適用されている技術の現況調査の概況:	関西大学	北岡 貴文
	標準データによるAI技術の試行:	清水建設(株)	淡路 勲太
	適用技術の紹介:	関西大学	北岡 貴文
		(株)大林組	畑 浩二
内容	<p>現在、土木分野において、インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進本部が設置され、「インフラDX」の取組が進められている。岩盤を対象としたAI適用等の技術分野は、各所で取組みが始まったところであるが、岩盤という多様で不確実性の高い材料を対象とするためか、やや他分野に後れを取っているように感じる。</p> <p>本小委員会では、トンネルを対象としたAI活用技術の実用化促進に向け、活用の仕方、活用できる環境作り、活用による効果、課題と対策等についての検討を行うものである。</p>		

5. 研究小委員会特別セッション

(1) 岩盤動力学に関する研究小委員 (25 件)

■ 『岩盤動力学に関する研究小委員会特別セッション (1)』 / 1 月 12 日 (水) 9:00~10:30

会場：第 1 会場 / 司会：岩田 直樹 (中電技術コンサルタント)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
1	0	発破における岩石・岩盤の破壊解析法の現状について—連続体・不連続体力学モデルを用いた発破解析法— ○福田 大祐・太田 良巳・蛭子 清二
2	0	発破による岩石・岩盤の破壊解析法の現状について—最新の数値解析技術・力学モデルを用いた発破解析法— ○福田 大祐・太田 良巳・蛭子 清二
3	0	山岳トンネル単孔起爆における振動・音圧の伝搬波形特性 ○高村 浩彰・浜田 元・佐藤 稔紀
4	0	打撃加振による大谷石岩盤の振動伝播特性と動的解析による再現性の検討 (その 1) ~ 打撃加振実験の振動伝播特性について~ ○高村 浩彰・清木 隆文・蛭子 清二
5	0	打撃加振による大谷石岩盤の振動伝播特性と動的解析による再現性の検討 (その 2) ~ 動的解析による打撃加振実験の再現性について~ ○清木 隆文・高村 浩彰・蛭子 清二・楠 祐規
6	0	剛飛翔体の高速衝突に対する岩盤貫入評価に関する一考察 ○太田 良巳・松澤 遼

■ 『岩盤動力学に関する研究小委員会特別セッション (2)』 / 1 月 12 日 (水) 10:45~12:15

会場：第 1 会場 / 司会：朝比奈 大輔 (産業技術総合研究所)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
7	0	Experiments on penetration response of a cylindrical object into rock under impact loads ○Ömer AYDAN・Shinya KODATE
8	0	地表地震断層の特性及び出現条件の整理と課題 ○朝比奈 大輔・清木 隆文・清田 亮二・董 勤喜・オノ木 敦士・吉田 淳
9	0	断層破砕帯の形成とその特徴 ○藍檀 オメル・神立 晋弥・太田 良巳・坂本 泉
10	0	断層破砕帯の力学特性に関する実験について ○藍檀 オメル・Halil Kumsar・太田 良巳・神立 晋弥・清田 亮二・岩田 直樹
11	0	断層ダメージ領域内の応力不均一性が断層領域の力学的挙動に与える影響 ○オノ木 敦士・岩田 直樹・朝比奈 大輔・藍檀 オメル
12	0	表面地震断層の発生におけるダメージゾーンの影響に関する解析的検討—日奈久断層を事例として— ○岩田 直樹・大塚 康範・藍檀 オメル・伊藤 高敏・オノ木 敦士・池田 隆明

■ 『岩盤動力学に関する研究小委員会特別セッション (3)』 / 1月13日(木) 9:00~10:30

会場：第1会場 / 司会：岡田 哲実 (電力中央研究所)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
13	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(1)－文献調査と本研究の取り組み－ ○和仁 雅明・岡田 哲実・亀村 勝美・河村精一・大塚 康範
14	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(2)－模型材料の力学試験－ ○岡田 哲実・納谷 朋広
15	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(3)－遠心力載荷加振実験－ ○納谷 朋広・岡田 哲実・関口 陽
16	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(4)－極限平衡法による安定性評価－ ○亀村 勝美
17	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(5)－剛塑性有限要素法を用いた考察－ ○河村 精一・水野 和憲・大塚 悟
18	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(6)－動的極限平衡法による安定性評価－ ○藍檀 オメル・渡嘉敷 直彦・伊東 孝・村山 有祈

■ 『岩盤動力学に関する研究小委員会特別セッション (4)』 / 1月13日(木) 10:45~12:00

会場：第1会場 / 司会：橋本 涼太 (広島大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
19	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(7)－等価線形化法による評価－ ○清田 亮二・高橋 裕徳・原田 雅也
20	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(8)－非線形有限要素法による評価－ ○川村 稔也・鈴木 知晃
21	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(9)－複合降伏モデルによる評価－ ○岩田 直樹・鹿瀬 一希・佐々木 猛
22	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(10)－2次元円形DEMによる評価－ ○吉田 泰基
23	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(11)－二次元多角形個別要素法による評価－ ○河路 薫・曹 国強

■ 『岩盤動力学に関する研究小委員会特別セッション (5)』 / 1月13日 (木) 14:15~15:15

会場：第1会場 / 司会：清木 隆文 (宇都宮大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
24	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(12) – 不連続変形法の適用性に関する検討 – ○馬 貴臣・井原 拓二・小野寺 正勝
25	0	不連続性岩盤を模擬した金属六角棒積層斜面模型の遠心力載荷加振実験(13) – 改良型不連続変形法による評価 – ○橋本 涼太・小山 倫史
		まとめ, 総合討論

(2) 岩盤斜面研究小委員会 (5件)

■ 『岩盤斜面研究小委員会特別セッション』 / 1月12日 (水) 13:15~14:45

(『斜面および斜面災害』合同セッション)

会場：第1会場 / 司会：小山 倫史 (関西大)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
26	0	リアルタイム写真差分解析システムを用いた自然斜面における落石の運動特性把握に関する研究 ○宮永 隼太郎・山上 順民・谷 卓也
27	0	防災カルテを活用した教師あり学習による国道沿い急崖斜面の総合評価手法の提案 ○伊藤 友希・三谷 泰浩・谷口 寿俊・本田 博之・川野 浩平・Ibrahim DJAMALUDDIN
28	0	弱層を有する凸型斜面の地震時挙動を対象とした動的遠心力模型実験 ○石丸 真・小早川 博亮・沢津橋 雅裕・平賀 健史
29	0	原位置計測および浸透流解析による斜面安定性評価に関する一考察 ○福岡 知弥・宮崎 祐輔・小山 倫史・藤本 将光・藤原 照幸・中川 佳正・尾下 嘉春・岸田 潔
30	0	Effect of in-situ stress on deformation of excavated slope with fold structure ○Kaixuan YUAN・Yusuke MIYAZAKI・Wataru KUNIMATSU・Kohei MIKI・Tomihiko OHISHI・Kiyoshi KISHIDA
		まとめ, 総合討論

発表形式…0 : 口頭発表

6. 一般セッションプログラム

(1) 口頭発表セッション (37件)

■ 『トンネル・地下空洞(1)』 / 1月12日(水) 9:00~10:30

会場：第2会場 / 司会：市川 晃央 (竹中土木)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
31	0	超大断面水路トンネルの情報化施工 唐松 雅司・川内 嘉起・袋井 肇・○秋好 賢治・藤見 晶・村上 正一
32	0	小型PCとウェブカメラによるリアルタイム岩盤崩落検知システムの開発 ○戸邊 勇人・伊達 健介・横田 泰宏・宮嶋 保幸・山下 慧・川内 見作
33	0	先進ボーリングを用いた湧水調査技術の現場実証 ○平塚 裕介・熊本 創・増岡 健太郎・山本 肇
34	0	ワイヤレスひずみ計測システムによるリアルタイムひずみ監視と支保適合性確認に関する研究 ○藤岡 大輔・中岡 健一・趙 越・藤井 宏和・町島 祐一
35	0	先進ボーリングを用いたトンネル切羽前方弾性波探査 ○三宅 由洋・奥澤 康一・八木 隆之・宮越 晃大・東芝 崇・佐藤 礼
36	0	材質の異なるロックボルトの力学的性能に関する実験的考察 ○河田 皓介・松本 卓馬・砂金 伸治・森本 智・淡路 動太・岡部 正

■ 『トンネル・地下空洞(2)』 / 1月12日(水) 10:45~12:15

会場：第2会場 / 司会：鴨志田 直人 (岩手大)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
37	0	Convolutional Neural Network を用いたトンネル切羽面の岩盤亀裂評価への適用性に関する研究 ○榎並 大希・尹 禮分・西尾 彰宣・楠見 晴重
38	0	機械学習による NATM トンネルにおける切羽面の岩盤評価 ○Karnallisa Desmy HALIM・金子 元気・尹 禮分・楠見 晴重
39	0	切羽のデジタルデータを活用した機械学習による支保パターン選定に関する検討 ○山下 慧・宮嶋 保幸・戸邊 勇人・岩永 昇二・平河 怜・鶴澤 雄大
40	0	削孔時のロッド応力波を用いた地山の圧縮強さ推定に関する基礎的研究 ○塚本 耕治
41	0	地山と支保の連動を表現する地山—支保特性曲線の作成に関する研究 ○藤井 翔平・西村 強・河野 勝宣・小川 金時
42	0	地山のせん断抵抗角と土被りが切羽安定性に及ぼす影響の実験的検討 ○川之上 諒・八木橋 辰紀・富樫 陽太・長田 昌彦

■ 『岩盤の性質・評価 (1)』 / 1月12日(水) 13:15~14:45

会場：第2会場 / 司会：中矢 和貴 (ニュージェック)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
43	0	塩ノ平断層破碎帯と車断層破碎帯の物性試験結果 ○西脇 隆文・小川 浩司・青木 和弘・吉田 拓海
44	0	孔壁と載荷板の曲率不一致を考慮したボアホールジャッキ試験による変形係数の評価方法 ○川久保 昌平・大野 宏和・松井 裕哉・加藤 猛士
45	0	堆積軟岩における含水状態がモールクーロン破壊基準に及ぼす影響 ○小砂子 優貴・富樫 陽太・畠山 健・川之上 諒・長田 昌彦
46	0	大谷石の風化による表面変化と強度の関連に関する検討 徳留 雄太・○清木 隆文・飯村 淳

■ 『資源・エネルギー/環境保全』 / 1月12日(水) 15:00~16:00

会場：第1会場 / 司会：郷家 光男 (清水建設)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
47	0	日本周辺の太平洋の海水温-CO ₂ ハイドレート貯留の温度条件一 ○池川 洋二郎
48	0	CO ₂ ハイドレート貯留における液体CO ₂ の圧入性能評価 ○鳥羽瀬 孝臣・西山 治希・重岡 優希
49	0	帯水層貯留におけるシール層の遮蔽性能評価 ○西山 治希・重岡 優希・木野戸 広・鳥羽瀬 孝臣
50	0	マグニチュード7クラスの地震が発生するまでの地震挙動に関する基礎的研究 ○甲村 雄一

■ 『岩盤の性質・評価 (2)』 / 1月12日(水) 15:00~16:00

会場：第2会場 / 司会：中岡 健一 (大林組)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
51	0	不連続面を有する風化花崗岩の室内繰返し岩盤せん断試験(1)一各種室内試験による力学特性の評価一 ○中村 良太・関口 陽・岡田 哲実・石丸 真・日高 功裕・野尻 慶介
52	0	不連続面を有する風化花崗岩の室内繰返し岩盤せん断試験(2)一大型の試料を用いた繰返し一面せん断試験一 ○澤田 喬彰・吉原 諒・岡田 哲実・石丸 真・関口 陽・野尻 慶介
53	0	不連続面を有する風化花崗岩の室内繰返し岩盤せん断試験(3)一画像解析による岩盤の変位・変形の計測一 ○関口 陽・日高 功裕・澤田 喬彰・岡田 哲実・石丸 真・横田 克哉
54	0	不連続面を有する風化花崗岩の室内繰返し岩盤せん断試験(4)一有限要素法による再現解析一 ○落合 丘悠・鈴木 知晃・石丸 真・岡田 哲実・日高 功裕・横田 克哉

■ 『室内試験/模型実験』 /1月13日(木) 9:00~10:30

会場：第2会場 / 司会：宮嶋 保幸 (鹿島建設)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
55	0	塩水環境下における緩衝材中のオーバーパック変位挙動に関する遠心力模型実験 佐藤 稔・○西本 壮志・青木 稔
56	0	高温・高圧環境における塩水を用いた花崗岩不連続面の透水実験 ○佐古 大地・緒方 奨・大西 史記・木下 尚樹・安原 英明
57	0	真三軸試験による空洞掘削時の岩盤破壊現象の再現 ○佐藤 稔・朝比奈 大輔
58	0	層理面を有する泥岩の内部構造と圧裂引張試験の破壊形態に関する考察 ○三好 航平・緒方 奨・中島 伸一郎・安原 英明・岸田 潔
59	0	岩盤の浅い地下空洞を考慮した静的および動的安定性に関する実験的研究 ○玉城 道雄・伊東 孝・藍檀 オメル・渡嘉敷 直彦
60	0	不連続性岩盤斜面の崩壊に関する基礎的研究 ○村山 有祈・伊東 孝・藍檀 オメル・渡嘉敷直彦

■ 『数値解析(1)』 /1月13日(木) 10:45~12:00

会場：第2会場 / 司会：柴山 周平 (大成建設)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
61	0	山岳トンネル施工時の地下水流動場予測に対するデータ同化手法の適用性検討 ○高本 尚彦・白石 知成・山本 真哉
62	0	データ同化による施工中の地下構造物の挙動の予測 ○青野 泰久・櫻井 英行・山本 真哉
63	0	ダム基礎処理における割れ目ネットワークモデルを用いたグラウト浸透シミュレーション ○三好 貴子・升元 一彦・石橋 正祐紀・栗原 啓丞
64	0	割れ目モデル構築における水理学的パラメータ推定手法とモデル化手法が解析結果に及ぼす影響 ○石橋 正祐紀・三好 貴子・尾上 博則・升元 一彦

■ 『数値解析(2)』 /1月13日(木) 13:00~14:00

会場：第2会場 / 司会：宮崎 晋行 (産業技術総合研究所)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
65	0	Extrinsic Cohesive Zone Model に基づいたハイブリッド FEM-DEM を用いた THMC 連成シミュレータの開発 ○前田 悠太郎・緒方 奨・福田 大祐・乾 徹・安原 英明・岸田 潔
66	0	塩水の影響を考慮した岩石亀裂の透水性変化予測解析 ○西羅 瑛太・緒方 奨・安原 英明・木下 尚樹・乾 徹・岸田 潔
67	0	熱一流体一力学連成数値モデルによる地熱流体流動解析 ○前原 崇志・緒方 奨・乾 徹・安原 英明・岸田 潔

(2) 自由討議セッション (12 件)

■ 『室内試験』 / 1 月 13 日 (木) 15:30~17:00

会場：第 1 会場 / 司会：三谷 泰浩 (九州大)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
68	F	大型構造物基礎としての琉球石灰岩層の力学的安定性と杭基礎の支持力特性の評価 ○田口 輝・藍檀 オメル・渡嘉敷 直彦・伊東 孝
69	F	斜面上における巨大岩塊の地震時の安定性に関する基礎的研究 ○村山 有祈・藍檀 オメル・伊東 孝・Nazlı Tunar ÖZCAN
70	F	六角形不連続性岩盤斜面の動的安定性に関する実験的および解析的研究 村山 有祈・○藍檀 オメル・渡嘉敷 直彦・伊東 孝
71	F	不連続性岩盤における浅い近接トンネルの動的安定性に対する実験的研究 ○玉城 道雄・伊東 孝・村山 有祈
72	F	挟在物を有する岩盤不連続面模型を用いた室内せん断試験 ○矢島 良紀・多田 一晴・品川 俊介
73	F	遠心力模型実験に適用可能な小型水分量センサーの開発 西本 壮志・○青木 稔

■ 『現場計測』 / 1 月 13 日 (木) 15:30~17:00

会場：第 2 会場 / 司会：木下 尚樹 (愛媛大)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
74	F	海底鉱物資源の揚鉱システムとして提案するキャリア循環方式の全体構成と技術的な課題 ○谷 和夫・梅田 洋彰・鈴木 亮彦・矢部 浩史
75	F	深層学習を用いた X 線 CT 画像処理による岩石き裂グラウト充填状況の評価 ○田川 千尋・中島 伸一郎・吉津 洋一・井関 宏崇・岸田 潔
76	F	浚渫土処分場における地盤改良工の有用性の検討 ○岡部 晃・坂本 奈温子・西山 哲・照屋 市朗・中原 浩実
77	F	GPS を用いた大型ロックフィルダム堤体の長期変位挙動 ○竹田 匠吾・中島 伸一郎・清水 則一・小堀 俊秀・山口 嘉一
78	F	道路沿いの急傾斜斜面の変位計測への DInSAR の適用性について ○久保 奨太郎・永崎 寛太・里 岳志・中島 伸一郎・清水 則一
79	F	Investigation of applicability of DInSAR for monitoring ground surface displacements due to tunnel excavations- a case study in Korea Wooseok Kim・Putu Edi Yastika・○Norikazu Shimizu

発表形式…0：口頭発表，F：自由討議